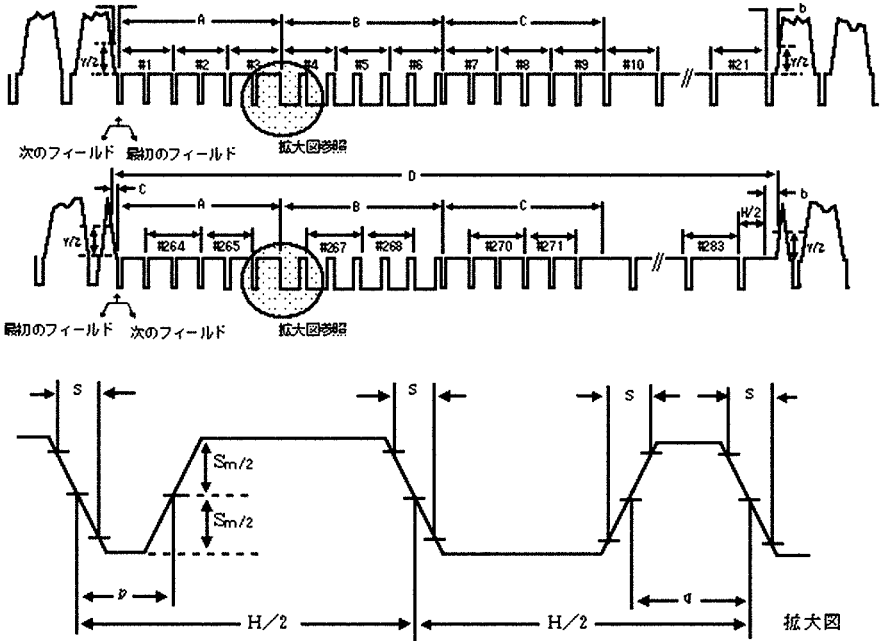
| | | |
|---|---|---|
| c | 正極性パルス終了点（T） | 44±3 |
| d | クランプ終了点（T） | 132±3 |
| e | 映像信号開始点（T） | 192−0<br>＋6 |
| f | パルス立ち上がり時間／立ち下がり時間（T） | 4±1.5 |

注1　Tは基準クロック期間を示し、輝度信号標本化周波数の逆数である。
　2　Vは映像信号の振幅を示し、700（mV）である。

4　走査線数が525本であって、走査方式が1本おきの場合の垂直同期信号

⑴　垂直同期信号の波形



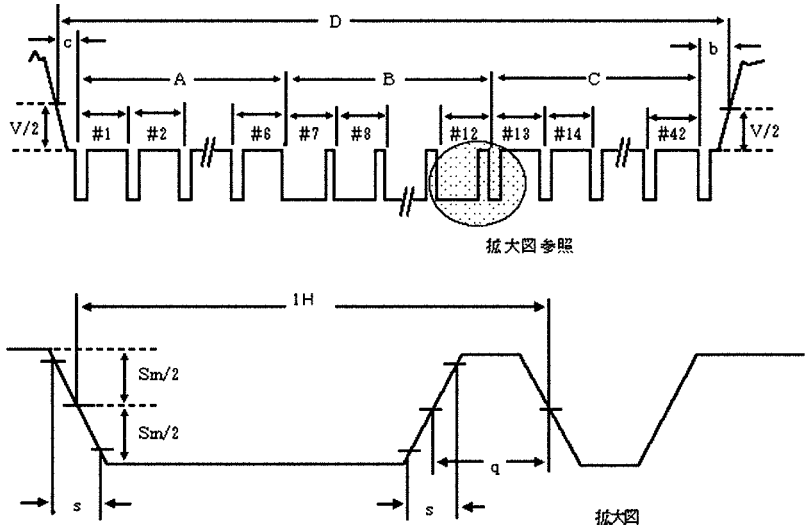

⑵　垂直同期信号の許容範囲

| 記号 | 項目 | 許容範囲 |
|---|---|---|
| D | 垂直ブランキング期間（μs） | 21H＋10.7＋0.30<br>−0.20 |
| A | 等化パルス期間（H） | 3±0 |
| B | 垂直同期パルス期間（H） | 3±0 |
| C | 等化パルス期間（H） | 3±0 |
| s | 垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間（10−90%）（μs） | 0.14±0.02 |
| p | 等化パルス幅（μs） | 2.30±0.10 |
| q | 垂直セレーションパルス幅（μs） | 4.70±0.10 |

注1　Hは1水平走査期間を示し、1001／15.75（μs）である。
　2　a、b、c、$S_m$及びVは、1の⑵に示す値とする。

5　走査線数が525本であって、走査方式が順次の場合の垂直同期信号

⑴　垂直同期信号の波形




⑵　垂直同期信号の許容範囲

| 記号 | 項目 | 許容範囲 |
|---|---|---|
| D | 垂直ブランキング期間（μs） | 42H＋5.35＋0.15<br>−0.10 |
| A | 垂直ブランキング期間の開始点から<br>垂直同期パルスの開始点まで（H） | 6±0 |
| B | 垂直同期パルス期間（H） | 6±0 |
| C | 垂直同期パルスの終了点から<br>垂直ブランキング期間の終了点まで（H） | 30±0 |
| s | 垂直同期パルスの立ち上がり／立ち下がり時間（10−90%）（μs） | 0.07±0.01 |
| q | 垂直セレーションパルス幅（μs） | 2.35±0.05 |

注1　Hは1水平走査期間を示し、1001／31.5（μs）である。
　2　a、b、c、$S_m$及びVは、1の⑵に示す値とする。